

事業所向けサービス自己評価表（児童発達支援） 結果（2020年度）

調査実施年月 2020年12月 事業所 ハッピーライフみなと

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点/改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		活動スペースを十分に取り、児童が思いっきり体を動かして活動できるようにしています。
	2 職員の配置数は適切であるか	○		支援の質を確保できるよう、職員を配置しています。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		活動室内の段差をなくし、やむを得ず段差があるところには簡易スロープを設置しています。また、視覚的な表示を使用し、情報伝達を行っています。
	4 清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		日々の清掃を欠かさず行い、児童が安全に過ごせる環境作りを行っています。新型コロナウイルスの感染対策として、消毒、換気を徹底して行っています
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○		毎日の朝礼やミーティングの中で全スタッフに周知し都度目標と改善を話し合っています。
	6 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		アンケート調査を実施し、業務の振り返りを行っています。
	7 支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		アンケート調査の結果を、ホームページにて公開しています。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	第三者による外部評価は行っていないが、社内での各事業所評価を行っています。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		社内研修の実施や外部研修に参加するなどし、質の向上に努めています
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか	○		契約時や定期的な面談の中で、ニーズを聞き取り、個別支援計画に反映させています。
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		アセスメントシートを使用し、子どもの状況把握に努めています。必要に応じて「Vineland-II」などのツールを使用しています。
	12 個別支援計画には具体的な支援内容が設定され、また計画に沿った支援が行われているか	○		個別支援計画を具体的な内容で検討、作成し、計画を基に支援を行っています。

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点/改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	13 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		定期的にスタッフミーティングを行い、活動の案を検討しています。
	14 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		児童の興味、特性に応じて、活動内容を変更したり、使用する遊具や学習ツールを検討しています。
	15 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○		平日と休日・長期休暇の活動を差別化し、メリハリのある活動内容となるようにしています。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで個別支援計画を作成しているか	○		集団活動への参加を軸に、個別の活動にも触れ、計画を作成しています。
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		始業前に朝礼を行い、その日の打ち合わせを行っています。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		終業前に終礼を行い、児童の様子、気づき等を振り返り共有しています。
関係機関や保護者との連携	19 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		活動終了後、個人の記録を行い、共有を図っています。
	20 定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		適宜、児童のモニタリング会議を開催し、目標の到達度、計画の見直しの検討を行っています。
	21 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせることで支援を行っているか	○		全職員にガイドラインの内容を周知し、活動内容に反映させています。
	22 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		必要に応じて、担当者が会議に参加しています。
	23 【児発】 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		○	児童の情報交換は行なっています。相互理解を深めるため、支援内容の共有を進めています。
24 【児発】 移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		○	進学前に担任等と児童の情報交換を行なっています。相互理解を深めるため、支援内容の共有を進めています。	

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点/改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	25			
	26			
	27			
	28	○		助言や研修を受けるようなスーパーバイザーとしての連携は行なっていません。センター主催の研修会などへの参加を積極的に行なっていきます。
	29			
	30		○	地域の保育所等との交流の機会はなく、現在、実施していません。イベント参加など交流を深めていきたいと考えています。
	31	○		活動、支援時間に支障がない範囲で参加しています。
	32	○		日々の送迎時や連絡帳にて児童の状況を伝え合い、共有しています。
	33		○	ペアレント・トレーニングは実施していません。送迎時や面談の機会に、児童の対応に関する助言や情報共有を行っています。
	保護者への説明責任等	34	○	
35		○		保護者の悩み等にきめ細やかに対応できるように、保護者への声かけを行っています。
36		○		保護者が集まり、交流を持てる機会を作り、保護者同士の情報共有の場としてきましたが、今年度は新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、実施できていません。

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点/改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	37	○		受付担当者、責任者の体制を整備し、掲示し、迅速に対応できるよう努めています。
	38	○		ホームページや事業所のブログにより、活動の様子や情報発信をしています。
	39	○		外部への持ち出しをしないなど、取り扱いには十分に注意をしています。
	40	○		理解しやすい表示や、拡大文字などを使用し意思疎通を図っています。
	41		○	事業所の行事へ、地域住民を招待することは行っていません。必要に応じて、内容等検討していきます。
非常時等の対応	42	○		各種マニュアルを策定し周知を図っています。
	43	○		消防署立ち合いのもと、定期的な防災訓練を行い、また防災学習等も併せて行っています。
	44	○		虐待防止委員会を設置し、社内全体研修の一環で虐待防止に関する研修を行なっています。
	45	○		契約時や定期的な面談の機会に聞き取りを行なっています。
	46	○		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか
	47	○		ヒヤリハット事例集を作成、周知しています。
	48	○		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか